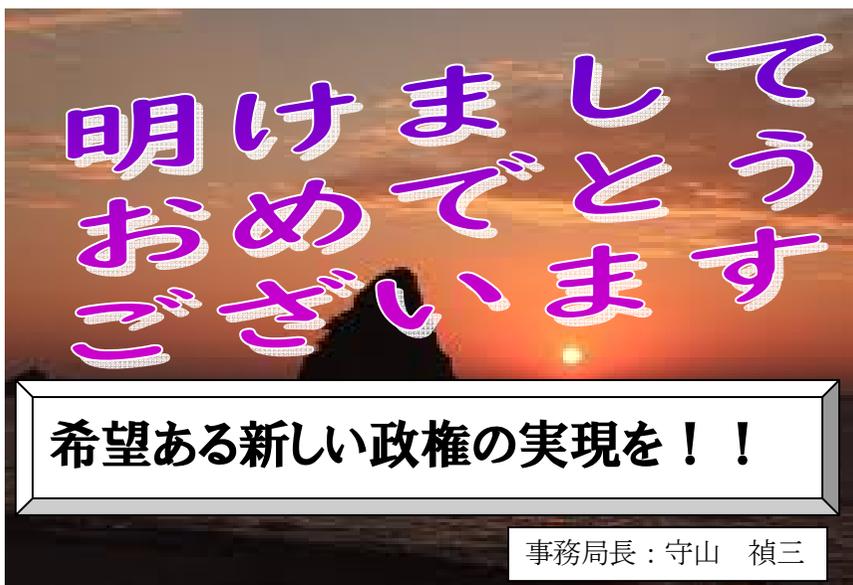


# 安保破棄ニュース

No. 525  
2021. 1. 15

## 安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三-〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三  
TEL 〇六-六七六三-三三三三  
FAX 〇六-六七六三-三八三六  
●Eメール [ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp](mailto:ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp)  
●ホームページ <http://www.ampo-osk.jp>



事務局長：守山 禎三

新型コロナウイルスの感染拡大第3波が猛威を振るう中、新年を迎えました。コロナ禍の中で、私たちは社会の在り方を厳しく見直し、新しい希望ある社会を築こうとしています。

ところが一方、コロナ禍の中であぶり出された、医療分野の脆弱性をはじめとする新自由主義社会の下での問題点を反省することなく、安倍政治を継承する菅政権の米国・財界の言いなりに「戦争する国」をつくらうとする正体は、

日本学術会議の任命拒否を通して、そして憲法違反の「敵基地攻撃能力」保有に踏み出す12月18日の閣議決定を受けての来年度予算案に色濃く表れました。

7年連続で過去最大を更新する軍事費は5兆3422億円。それに加えて今年度の第3次補正予算案には、本来補正予算に含まれるはずのない兵器購入ローンの前倒しなどが3867億円も含まれ、「後年度負担」と称するローンの総額5兆5380億円を合わせる、実に10兆円を超える「不要不急」の軍事費が組み込まれています。

市民の苦しみに目を向けず、大企業のための経済政策を優先し、米国の対中インド太平洋戦略に追随して大軍拡と日米軍事一体化を推し進めようとする彼らによって、9条改憲が狙われ、辺野古新基地建設強行、馬毛島への米空母艦載機の離発着訓練施設建設、宮古島・石垣島・奄美大島への自衛隊ミサイル基地建設等々、日本と世界の平和が脅かされる非常に危険な局面を迎えています。

しかし一方、米国など核保有の大国の圧力にもひるまず、多くの小国を含む50を超す国々が批准することによって、ついに1月22日には核兵器禁止条約が発効し、歴史的な平和への1ページが開かれます。

昨年9月に市民連合から立憲野党に示された要望書には、先ず立憲主義の再構築、民主主義の再生、そして透明性のある公正な政府の確立が掲げられ、「人間の安全保障」の観点にもとづく平和国家の創造、「核兵器禁止条約」の批准、「敵基地攻撃能力」などに依存しない包括的で多角的な外交・安全保障政策の構築、そして沖縄県民の尊厳の尊重、辺野古新基地建設を直ちに中止し、普天間基地の返還・撤去、さらには、日米地位協定の改定が記され、東アジアの共生、平和、非核化と世界の中で生きる平和国家日本の進むべき道が記されています。ここにこそ、私たち市民が望む社会の在り方が示されています。

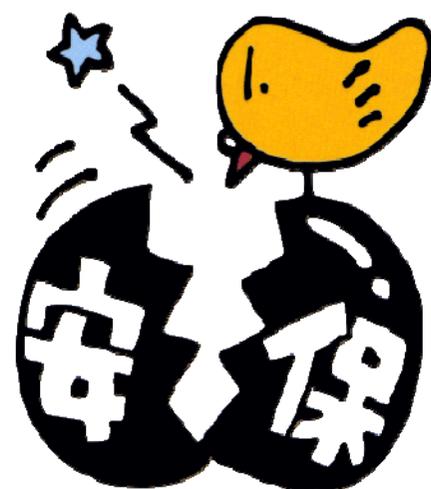
## 23 宣伝行動

2020年12月の大阪安保23定例宣伝行動を、12月23日の昼12時からいつもと同じく淀屋橋で行いました。継続的に行うようになってから通算で392回目の23行動です。10人の参加で、弁士による訴えと、ビラ配布、「日米地位協定の抜本的改定を求める請願」署名への呼びかけを行いました。弁士は、憲法会議、自治労連、うたごえ協議会、AALAからそれぞれ出してもらいました。

ビラの受け取りも結構よく、宣伝準備中から、「ビラ一枚ちょうだい」と、声をかけてくる女性もいて、ビラの内容に賛同の意思を示してくれました。

2021年の1月は、大阪安保23宣伝行動としては行わず、22日が核兵器禁止条約の発効日ということで、大阪原水協の宣伝行動へ大阪安保としても全面的に結集します。昼の12時からなんばで行います。大阪からも日本政府に対して「条約を批准しろ！」の声を大きく上げていきましょう。

2月の23宣伝行動は、22日月曜日の昼12時から淀屋橋にて行います。寒いなかででしょうかご参加よろしくお願ひします。



この方向に沿って私たち安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会も運動を進め、秋までには必ず行われる総選挙を市民と野党の共闘の力によって勝利し、希望ある新しい政権を実現するために、力を合わせましょう。

## 近畿2府4県 安保破棄実行委員会

# 合同オンライン会議

12月18日、近畿の安保合同会議をオンラインで開催しました。

会議の中では、コロナ禍のために各府県の活動が大きな影響を受けた様子が報告されました。

しかしそのような中でも、滋賀県では11月に小泉さんを講師に「沖繩連帯のつどい」が、兵庫県では「平和塾」というオンライン学習会や韓国の釜山市とのオンライン交流会、京都府でも6月に「沖繩連帯のつどい」、11月には「いらんちゃフェスタ」を沖繩・岩国・秋田・韓国をオンラインで結んで開催、和歌山県では「ゆいまくる」という党派を超えた組織に参加し、グダクリ町の活気を取り戻そうと行われた「ポポロハス・マーケット」に沖繩物産店を出店してその売り上げを沖繩に送るなど、いずれも平和を愛する他団体と共同してのとりくみを行っていることが報告されました。

また、米軍のオスプレイや他の航空機が、彼らが勝手に設定したブルーラインやオレンジと呼ばれる訓練飛行ルートを飛行している姿が、兵庫県では、北朝鮮の溪谷に似ていると言われる生野ダムやトドロキ高原、鉢伏、そして三田、加古川など市街地の上空でも、また、京都府でも7月・10月に、和歌山県でも目撃されていることが報告されました。

これらのことを通して、近畿の安保が連絡を取りながら、広く他の団体とも共同して活動することの重要性が確認され、オンラインを大いに活用してお互いの「学習会」などに参加、さらに、共同してオンライン「学習会」を開催し、情報交換もラインなどを利用して日常的行おうと確認しました。

## 諸団体の取り組み、当面の予定など

- 1月  
18日(月) 国会開会日宣伝行動(12:15~13:00 淀屋橋)  
22日(金) 「核兵器禁止条約」発効(宣言) 宣伝  
(12:00~13:00 なんば)  
30日(土) 大阪AALAカフェ「敵基地攻撃能力について」  
(講師:植田保二さん 13:00~ 大阪AALA 事務所)
- 2月  
3日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00~)  
6日(土) 近畿安保合同オンライン学習会  
『敵基地攻撃能力』と大軍拡 — 軍拡はなにをめざすのか?! —  
(講師:千坂純《日本平和委員会事務局長》  
14:00~16:00 ZOOM 使用)

近畿安保合同連続学習会第1弾

## 『敵基地攻撃能力』 — 軍拡はなにをめざすのか?! —

近畿の安保破棄実行委員会合同で、連続学習会を企画していきます。その第1弾を『敵基地攻撃能力』— 軍拡はなにをめざすのか?! —と題して、日本平和委員会事務局長の千坂純さんを講師として行います。

コロナ禍の中ですので、オンライン学習会として行います。

2月6日(土) 14時から16時、ZOOMを使用していきます。参加費500円です。

お申し込みは、メールで安保破棄大阪実行委員会までお願いいたします  
(ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp)。折り返し、参加費のご入金に関してや、参加方法などご連絡させていただきます。

ZOOMの使用に関してのご相談も承ります。お気軽にお問い合わせください。

安保がわかるブックレット⑩

## 軍事同盟に代わる 平和の枠組みを、今こそ — 日米同盟と憲法の攻防 —

昨年12月に、安保破棄中央実行委員会から新しいブックレットが、発行されました。「軍事同盟に代わる 平和の枠組みを、今こそ— 日米同盟と憲法の攻防—」というタイトルで、渡辺治さんによる執筆です。

昨年の6月に開催された「日米安保条約発効60年— 軍事同盟に代わる平和の枠組みを考える集い—」での講演録に、その後の情勢の変化を交えて加筆された内容となっています。

安保条約発効からの60年間を「たんに安保の軍事同盟が進んだ60年ではありません。日本を侵略戦争の基地にしない」「戦争する国づくりは許さない」という思いの下、日本国憲法を武器に頑張り続けた闘いの60年でもあります。

「はじめに」(より)という視点で、本当に今までのたたかいに確信が持てるとともに、これからのたたかいに、おいての方向性を決めていくうえで大きな力になる内容となっています。

安倍政権が行ってきた悪政を3つの視点で分かりやすく説き、それが破綻した流れも示されています。

また、旧安保条約を含めての歴史を振り返り、その時々状況、闘いの意味を示されています。

今年の秋までに必ず行われる総選挙に向けて「今こそ、自公政治を変え新自由主義と軍事大国化の政治を変える共に発展させねばなりません。頑張りましょう。」と締めくくられています。

まさに今、政治を変えていくために、みんなで考え、学習していくために最適のブックレットとなっています。

頒価 500円です。安保破棄大阪実行委員会では10冊以上ご注文していただくと割引設定しています。学習会や、会議前の短時間での学習などにご活用ください。活用に関してなども、お気軽に安保破棄大阪実行委員会までご相談ください。多くのご注文お待ちしております。